

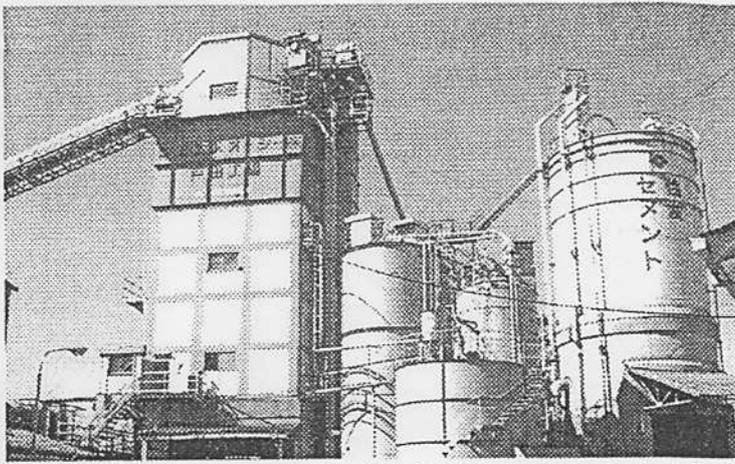
# 単独で大臣認定取得

## 埼玉エスオーシー 範囲は 60N

埼玉エスオーシー(埼玉県玉川市、相子賢一社長)は二月二十四日、埼玉

玉川で初めて生コン単独で高強度コンクリートの

001の認証を取得。主眼として「私達は優れた品質と納入でお客様に最高の満足度を提供する」と掲げている。相子社長は「ISOを取得してか



埼玉エスオーシーのプラント

ISO9000

同社は平成十三年十月にISO9000取得にとどまらない。過去に80N/mmクラス



相子社長

の高強度コンクリートの実機試験を行い、現在もセネコンと共同で60Nクラスの出荷を行っている。そこで、さらに技術力を磨き、顧客満足度を高めるために高強度コンクリートの大臣認定取得にチャレンジ。今回、認定された強度範囲は普通セメント使用で三三〇六〇N、低熱および中庸熱セメント使用で四二〇六〇N。審査機関は日本建築総合試験所。

「大臣認定で苦労した点は」との問いに対して同社は「親会社である住友大阪セメントの協力があつたためそれほど苦労しなかつた。過去に高強度コンクリートの製造実績や培ってきた基礎データを活用して大臣認定取得につなげた。昨年十月から認定取得への準備

開始、過去の実績と経験からわずか四か月での取得へとつなげた。大臣認定を単独で取得した強みを生かして、今後は高強度コンクリートに積極的に対応していく方針。近い将来、事業地域内で高強度コンクリートの発注が見込まれており、早速取得した技術が生かされることになる。製造設備の近代化も進めてきた。平成十一年に日工製の二軸強制攪拌型6mを導入。出荷能力は格段に向上し、出荷集中時に対応している。また、インバーターによる可変速が可能で、多様化するコンクリートの製造に対応している。現在の従業員数は十六名。うちコンクリート主任技士が一名、技士が五名。今後の目標のひとつとして有資格者増員を掲げている。特にコンクリート診断士の有資格者がいないので、この資格を早急に取得したいとしている。多くの従業員が資格を確保することで、見る目を養い、より強固な信頼に結び付けていく、というねらいがある。また、操業当初の同社近辺は工業地帯であったが、現在は住宅地となっている。そのため、いざれISO14001の認証取得を目指す考えだ。実際、構内は多くの標識が掲げられており、安全環境を意識した職場作りを心掛けている。環境に配慮した職場作り、永年の経験と技術力、培ってきた信頼。これらの積み重ねが自信と誇りであり、社会的責任を担っていく同社の強い姿勢だ。